

逸品創造促進事業

3事業者が京都市の商談会に参加

3月6日と7日、京都市で開催された「京都知恵産業フェア2019」、「第1回京都インターナショナル・ギフト・ショー 2019」に逸品創造促進事業で商品開発や販路開拓に取り組んだ3事業者が参加しました。

京都知恵産業フェアでは、商品開

発を進めた(株)藤善(北浜町)が万願寺とうがらしの“うま煮”を出展。京都インターナショナル・ギフト・ショーには、販路開拓に取り組んだ障害者福祉施設のほっこりステーション(行永)が、猫をモチーフにした“エコバッグ”、そして雑貨店

のまいづるクラフト(行永)が“京野菜のアクセサリー”を展示し、商品の特徴や素晴らしさをアピールしました。

なお、3月20日の新聞折込でお届けした“ゆるりと.+vol.9”では、今回出展した事業者の商品をはじめ、逸品創造促進事業に参加した11事業者を紹介するとともに、代表者のひと言など様々なエピソードを含め掲載しています。

“春の就職フェア”に112人

3月15日に舞鶴市商工観光センターで、昨年よりも11社多い市内の59事業者の参加を得て「春のまいづる就職フェア」を開催しました。

今回は、一般の求職者をはじめ、今年3月に卒業した人に加え、来年3月卒業予定の学生や高校生も参加対象にしたことから、来場者は昨年

より10人多い112人でした。

参加した事業所は、それぞれ“人材”の獲得に向け、会社概要や具体的な業務内容など、工夫を凝らしながら丁寧に説明。自社の“魅力”を最大限に来場者にPRされていました。

音楽イベント誘致へ関係者を案内

「舞鶴ミュージックコミュッション(会長:多々見舞鶴市長)」は、3月19、20日に、東京・大阪から音楽関係者を招き、市内のコンサート適

地などを初めて案内しました。

舞鶴市内での音楽イベントやミュージックビデオ撮影の誘致に向けて実施したもので、一行は総合文

化会館をはじめ、舞鶴自然文化公園や青葉山ろく公園、田辺城跡などのほか、舞鶴市商工観光センターのコンベンションホールも視察し、舞鶴のポテンシャルを確認されていました。

春の賑わい \ええもん/フェスタ in赤れんが を開く



11事業所の逸品を展示販売(3月23日)

3月23日に舞鶴赤れんがパーク5号棟と芝生広場で開催した「\ええもん/フェスタin赤れんが」には約1,500人の来場がありました。

このイベントは、舞鶴商工会議所が支援し、各事業者が取り組んだ“商品開発による逸品”のお披露目と、「金曜日はカレーの日」プ

ロジェクト参加店の“海自カレー”やカレーに関する食を楽しんでもらうイベントとして実施したものです。

逸品の出展者は11業者で、それぞれが商品に対する想いを来場者に伝えて販売しながら、お客様からは感想や意見を直接聞くこともできる大変良い機会になりました。

5号棟内では、逸品の紹介とともに「ちびっ子カレー射的」や「カレーの具材」の重さ当てゲーム、「〇×クイズ」などアトラクションを実施し、来場者に楽しいひとときを過ごしていただくことができました。